

令和2年第1回 経済建設委員会会議録

令和2年3月5日

第2委員会室

開 会：午前9時00分

委員長 中嶋 元則

副委員長 堀 光明

2番委員 佐々木 透、3番委員 荒田 雅晴、4番委員 水野 功教

委員長 ; 全員お揃いですので、定刻より少し早いですが、ただ今から令和2年第1回経済建設委員会を開会いたします。

会議が始まる前に、事務局長のほうから、全員マスク着用で、質疑と答弁をお願いするというので、昨日に引き続き行いたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

本日の会議は、去る2月26日の本会議において、当委員会に付託された議案の審査であります。議事の進行は別紙の次第書の順序で行いますので、よろしくお願いいたします。それでは、はじめに小坂市長、ご挨拶をお願いいたします。

市長 ; 皆様おはようございます。早朝よりお集まりいただきましてまことにありがとうございます。3月でございますので、当初予算を含んで多くの議案があるわけでございます。よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルスの関係を少しだけご報告を申し上げます。3月3日に議員の皆様には私どものほうから情報提供させていただきましたが、学校の関係も、もう今週になって休みになってますし、学童、それから、各業界、それぞれのお話も申し上げたところでございます。

3日の夕方には、経済関係、それから観光関係の団体とも、意見交換をさせていただきました。実際にですね、業界としては、まず物が動いてないと。それから人も動きがかなり落ちているので、結果的に観光業含めて、飲食店、それから旅館、それからそれぞれに関係するところですね、こういったところも非常に今厳しくなっていると、こういう状況でございます。新聞見ましても、それからテレビでも似たようなお話が出てますので、これがいつまで続くかと、これが、経済に及ぼす大きな影響が出てきたということは言えると思います。

それからもう一つ、感染者は恵那市では出てませんが、万が一これが出たとき

はですね、また新たなステージに入って行くわけですし、その時点では、市としても全力を挙げてこれに対応することになるということでございます。さまざまな段階があると思いますので、多面的に見てですね、柔軟に対応できるようにということと考えております。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。またこの件に関しましては情報が入り次第、議員の皆様にも随時お伝えする予定でございます。どうぞよろしくお願いいたします。それでは、最後まで第1回の経済建設委員会、よろしくよろしくお願いいたします。

委員長 ; ありがとうございます。続きまして後藤議長、ご挨拶をお願いいたします。

議長 ; 皆さんおはようございます。きょうは、令和2年第1回の経済建設委員会、早朝よりご苦労さんでございます。

今、市長さんからもお話があったように、新型コロナ対策で、本当に、市内で感染者が出んことを祈っているわけですが、議会のほうもきょうの新聞にも載っておりますけれども、市議会の一般質問の傍聴とか、本会議の傍聴というのをなしにした、取りやめるということにしましたんで、また皆さん方もよろしくお願ひしたいと思います。

きょうは、12件の議案の審議でございます。新年度に向けての審議でございますので、よろしくご審議お願ひしたいと思います。以上でございます。

委員長 ; ありがとうございます。

それでは議題に入りますが、各議案の内容は本会議において詳細説明まで受けておりますので、直ちに委員の質疑、それに対する答弁、討論、採決という順序で進めさせていただきます。

なお、発言につきましては、委員長の許可を得て、必ずマイクのランプが点灯していることを確認し、マイクに向かって簡潔に質疑・答弁をされますようお願いいたします。

委員長 ; はじめに、「議第11号 恵那市企業等立地促進条例の一部改正について」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。ご質疑はありますか。はい、ありますか。3番委員。

3番委員 ; 農業の補助金の額ですが、投資規模が新規の場合2億円、再投資の場合1億円だけど、この額が大きすぎて、この前全員協議会の際には、何か見直すようなこと言っただけ、どのぐらいの額に見直す予定ですか。

委員長 ; 農政課長。

農政課長 ; はい。投資規模の額につきましては、条例では今指定している金額でいきます。それ未満の案件につきましては、今後、要綱等でフォローしていく、すき間のない対応をしていきたいというふうに考えております。以上です。

委員長 ; 他にありませんか。3番委員。
(マイクオフ：他に発言する者あり)

委員長 ; 農政課長。

農政課長 ; はい。金額は、現在の投資規模未満のものを対応できるように、要綱のほうで実施をしていきます。投資規模の規定以上のものにつきましては条例対応、それ未満のものについては要綱での対応をしていくという考え方でおります。

委員長 ; 他にありませんか。4番委員。

4番委員 ; 条例ができたらね、それなりの需要というか、必要性を感じて条例化したわけだと農業のほうをね、今年度、何団体ぐらいを見込んでいるのか、教えてください。

委員長 ; 農政課長。

農政課長 ; 非常に投資規模の大きなものでございまして、現在のところまだ具体的なものにはなっておりませんが、1件お問い合わせをいただいておりますので、そちらが進めばというふうに考えております。

委員長 ; 4番委員。

4番委員 ; 状況見ながら、市としても行政ともその農業法人もね、広げようということで、地域産業っていうか基幹産業に育て上げていく、農業を強くしていくということやったと思うけれど、そういう条件が整えば、今年度中には新規登録してもらえるか、理由はそんなような状況ですかね、進行状況。

委員長 ; 農政課長。

農政課長 ; 新年度の中で、国等との補助金も含めまして、対応していきたいと考えております。年度内に対応していければと考えております。

委員長 ; 4番委員。

4番委員 ; そうするときに、今年度の見込み、どれだけ上乗せ負担というかね、恵那市としてもそれなりの支援する予算が必要じゃないかと思うんだけど。どれぐらいを見込んでいるのかということはどうですか。まだなら結構ですけど。一切関係ない、国とその業者だけの話なのか、市はこうやって条例を作るだけなのか、しかし条例作ればそれなりの面倒見ていかなあかんもんだから。教えてください。

委員長 ; 農政課長。

農政課長 ; はい。まだ、具体的に、規模等が事業費等が決まっておりませんので、今後の対応になってくるかと思っております。その際には補正予算で対応させていただければというふうに考えております。

委員長 ; 4番委員。

4番委員 ; 今、1社が計画されているというような話やけども、もしそうなるとすると、補正では額としてどれぐらい見込んでおかなあかんのか、単位がね、百なのか千なのか億なのか、そこのところどんなもんですかね。

委員長 ; 農政課長。

農政課長 ; 現在のところ投資額の10%ということになりますので、投資規模によるということになってまいります。はい。以上です。

委員長 ; 他にありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第11号 恵那市企業等立地促進条例の一部改正について」は原案のとおり可決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

委員長 ; 全会一致であります。よって、「議第11号」は可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第12号 恵那市営住宅条例の一部改正について」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。ご質疑はありませんか。4番委員。

4番委員 ; これは予算のほうで見るでいい。パスパス。

委員長 ; 他に質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第12号 恵那市営住宅条例の一部改正について」は原案のとおり可決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

委員長 ; 全会一致であります。よって、「議第12号」は原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第13号 恵那市一般住宅条例の一部改正について」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。ご質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第13号 恵那市一般住宅条例の一部改正について」は原案のとおり可決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

委員長 ; 全会一致であります。よって、「議第13号」は原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第16号 恵那市市民農園条例の廃止について」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。ご質疑はありませんか。4番委員。

4番委員 ; これ、市民農園は永田のほうは、元に戻して返すということの条例ですけども、必要がなくなったということね。これ返すのに田んぼして返すというふうに書いてあるけど、それなりの時間とコスト、どんなふうなのかちょっと教えてください。

委員長 ; 農政課長。

農政課長 ; はい。3月31日までお借りをしまして、そこで地権者の方にお返しをします。水田でお返しすることになりますが、それにつきまして新年度予算のほうで計上させていただいております。

すいません、ちょっと調べさせていただきます。

(マイクオフ：他に発言する者あり)

委員長 ; はい、あのすいません。4番委員。

(マイクオフ：他に発言する者あり)

委員長 ; 農政課長。

農政課長 ; 期間としましては。

(マイクオフ：他に発言する者あり)

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 元に戻すのにどれぐらいかかるか。だから、今年の耕作に間に合うかということもね、はい。

委員長 ; 農政課長。

農政課長 ; 4 月から 6 月までを、水田に復旧する工事を一応予定をさせていただいておりますので、本年度の作付けについては、ちょっと間に合わないということを地権者の方にもご了承いただいております。

委員長 ; 他にありませんか。2 番委員。

2 番委員 ; はい。この市民農園を廃止することによって、この条例はなくなるということなんですけど、今後はこのような事業はもうやられないということなんでしょうか。

委員長 ; 農政課長。

農政課長 ; はい。代替施設といたしまして、JAひがしみのさんが、東野において、市民農園に替わるべきものを実施してみえますので、そちらのほうに運営はお任せしていきたいというふうに考えております。市としては行いません。

委員長 ; 他にありませんか

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第 16 号 恵那市市民農園条例の廃止について」は原案のとおり可決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

委員長 ; 全会一致であります。よって、「議第 16 号」は原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第 17 号 字の区域の変更について」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。ご質疑はありませんか。1 番委員。

1 番委員 ; この事業はですね、県の土地の改良事業で、山林が、多分農地になったということなんですけど、この換地という件は、事業始まる前にもう換地計画があつて、全部

完了したからこういう換地の認可申請を出すということになるのか、その辺はいかがですか。

委員長 ; 農政課長。

農政課長 ; はい。今回の事業につきましては、市営の事業と県の事業の2つございました。こちらの両方の事業が終了しまして、今回一緒に換地をさせていただくということになっておりまして、当初段階、事業の途中でですね、換地の確定、換地計画を実施をさせていただくことになり、失礼しました。

(マイクオフ：仮換地をやっという本換地だもんで。と発言する者あり)

農政課長 ; 今回の土地につきましては全て市有地でしたので、仮換地を。

(マイクオフ：他に発言する者あり)

委員長 ; 農林部長。

農林部長 ; はい。今回ですね、仮換地計画をしたものにつきまして、実測により、換地を行うというものです。

委員長 ; よろしいですか。他にありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第17号 字の区域の変更について」は原案のとおり可決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

委員長 ; 全会一致であります。よって、「議第17号」は原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第18号 指定管理者の指定について」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。ご質疑はありませんか。4番委員。

4番委員 ; 幾つかお伺いしますが、まず最初に指定管理、これは入札じゃなしに指名というかね、随意契約というか、なぜこういうことにしたのか。他の人ともっと外部のアイデアを入れるとか、そういうようなことも考えてみれば、公募というかね、そんなこともしてもよかったというふうに思うんですけども、なぜそういうふうにしたのか、お願いします。

委員長 ; 商工観光部次長。

商工観光部次長

兼観光交流課長 ; 選定理由につきましては、恵那峡再整備基本計画の選定及び事業内容の検討に、当初からこちらの恵那市観光協会が加わっております。

また現在、恵那峡駐車場管理及び公園清掃管理を請け負っている事業ということで、選定をさせていただいたところ です。以上です。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 何とかね、その業者の知恵を生かしてもらわないかんと思うわけですが。

あと、この組織ですね、管理してもらう施設っていうのは、条例に書いてある、あそこだけということに限るわけですね、管理委託するのは。

委員長 ; 商工観光部次長。

商工観光部次長

兼観光交流課長 ; はい。管理するところは条例に書いてあるところということになります。以上です。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; それ以外の山林とか、道路、それらについてはそれぞれの管理者がおって、そこが管理すると。観光協会はその施設だけということからなってくると、観光客の対応なんかについて、状況は誰が見てくわけ。例えば、今回この流行のある問題が起きたときのお客さんの状況なんかについて、恵那市に来ていただいた方やもんだから、十分それなりにチェックしてかなかんけど、そういう仕事は、観光協会は請け負わないということ でいいですね。

委員長 ; 商工観光部次長。

商工観光部次長

兼観光交流課長 ; 観光客の対応は、ビジターセンターの管理の運営の中にも入っておりますので、そういうことは観光協会のほうが行うこと になります。以上です。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; そうすると、その範囲はどこからどこまでになるわけですか。

委員長 ; 商工観光部次長。

商工観光部次長

兼観光交流課長 ; 範囲につきましては、恵那峡を訪れた方というようなふう に考えております。以上です。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; タクシーで来る方も観光バスで来る方も、いずれにしても恵那峡の地にと、奉行橋渡ってから、そういう嫌なふう に言ってもあかんけど、恵那峡に来てみえたお客さんということで、だから一般的な標準的な判断で対応するということになるわけ

すね。

委員長 ; 商工観光部次長。

商工観光部次長

兼観光交流課長 ; そのように考えております。以上です。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; はい。観光協会は、恵那の駅のところにありますけども、恵那峡では協会の事務所
というか、管理施設、そういうものは設定されるのか、また、ここを管理していく
組織体制、どういうふうな格好でやるのか、当初から加わってもらつとるとい
うならば、全てしっかり網羅されておると思う、組織をね。どういうふうな状況なのか
教えてください。

委員長 ; 商工観光部次長。

商工観光部次長

兼観光交流課長 ; ビジターセンターは、観光案内所も兼ねておりますので、そういったところに、観
光協会の者が入ることになります。

管理運営体制につきましては、観光協会を中心にしまして、恵那峡支部の方、協会
の本体のほうからの派遣という形を考えておりますので、お願いいたします。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; その組織図を見せてもらうわけにいきませんか。

委員長 ; 商工観光部次長。

商工観光部次長

兼観光交流課長 ; すみません。まだ現在そこまでは作っておりませんので、お願いいたします。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 最終日には議会にね、それまでには、議員には見せていただけますね。要は提案す
るのは市の行政で、それをオッケーというかね、責任を持つのは議会だということ
になりますので、議会として、ここでええかどうかということ、確認しなきゃなら
ないと思います。ですから、その組織図は、当然、できるといふふうに思ったん
だけど、まだできてないということならば、最終日まで、議員のほう見せていた
だきたいですが、いかがでしょうか。

委員長 ; 商工観光部次長。

商工観光部次長

兼観光交流課長 ; では 23 日に、提示できるようにさせていただきます。申し訳ございません。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 組織の中で、地元の業者というか、商店街、この方々はどのように関与されてみえ
ますでしょうか。

委員長 ; 商工観光部次長。

商工観光部次長

兼観光交流課長 ; 地元の商店の方々につきましては、全て観光協会の恵那峡支部に加入していらっしゃると思いますので、支部員としての活動をはじめ、さまざまご協力をいただくように考えております。以上です。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 考えておりますではなく、実態はどうか。今回この話がどこまでいって、十分理解してもらっているのか。それは、発注者、いわゆる市としての責任だと思うわけね。どんな状況になってるか教えてください。

委員長 ; 商工観光部次長。

商工観光部次長

兼観光交流課長 ; すみません。地元のほうには、お話は恵那峡支部を通じて話をしているというふうに考えています。以上です。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; そういうところを裏取りするのは議員の仕事ならば、私のほうで確認させてもらいますが、本来ならば、発注者である恵那市のほうで、仕事を頼んだ市の職員のほうでやってもらいたいというふうに思うわけですが、それができておらなきゃ、私、議員のほうでやらせてもらいます。

ついでですけども、トイレが課題だというふうに聞いているんですけど、これについては今回、協会のほうはこれについてどんなふうな、お客さんの要望に対してどう応えようとしているのか、どのような対応を考えてみえますか。お伺いします。

委員長 ; 商工観光部次長。

商工観光部次長

兼観光交流課長 ; トイレにつきましては、ビジターセンターにも新しいものを作ります。地元からの要望もありまして、下にあります遊覧船の横のトイレにつきましては、当初は壊して解体するという予定でございましたけれども、それもそのまま使うということで、トイレについては個数については十分あるかというふうに思っています。またトイレにつきましても、清掃のほうは指定管理の中に入っておりますので、よろしくお願いたします。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; この前、総務かな、委員会でも話が出て、洋式か和式かという話ですが、そのトイレの状況どんなもんですか。

委員長 ; 商工観光部次長。

商工観光部次長

兼観光交流課長；トイレにつきましては洋式化してございます。新しいものにつきましては、全部洋式化になっておりますので、さざなみ公園の奥側のトイレも洋式になっておりますのでお願いいたします。

委員長；他にありませんか。2番委員。

2番委員；はい。指定管理料の中で、ビジターセンターの管理費ということで231万円と上げてあるんですけど、これについては人件費等なのか、またその管理費なのかということと、もう一つは、このにぎわい創出、これについても、594万円と上げてあるんですけど、どのような内容を予定されておられるのか、ちょっとお聞きしたいと思います。

委員長；商工観光部次長。

商工観光部次長

兼観光交流課長；ビジターセンターの管理運営費は、光熱水費や通信運搬費、委託料、その他事務機器のリース等にかかる管理費のみでございます。

それから、にぎわい創出経費につきましては、プロモーション経費、年に何回か大きなイベントを重ねてやっていただきたいということで、イベント経費として計上しております。以上です。

委員長；2番委員。

2番委員；この594万円という金額が妥当なのかということもなんですけど、やはり恵那峡活性化に向けて、あらゆることを考えていただきたいと思っております。ので、果たしてこの594万円が多いのか、少ないのかということもありますので、私は本当にもっと多くをつぎ込んでいただきたいと思ってましたけど。またよろしく願います。

委員長；はい、要望ですね。他にありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長；ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長；討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第18号 指定管理者の指定について」は原案のとおり可決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

委員長；全会一致であります。よって、「議第18号」は原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、
(マイクオフ：委員長。と呼ぶ者あり)

委員長 ; はい、農政課長。

農政課長 ; 先ほど、4番委員のご質問、市民農園の返還に伴います、水田への復帰の工事費についてです。新年度予算におきまして、農業施設管理事業費において、80万9,000円を予算計上させていただいておりますので、よろしくお願いいたします。以上です。

委員長 ; 次に、「議第26号 土岐川防災ダム一部事務組合理約の変更について」を議題といたします。
本件に対する質疑を行います。ご質疑はありますか。
(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。
本件に対する討論はありませんか。
(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。
「議第26号 土岐川防災ダム一部事務組合理約の変更について」は原案のとおり可決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。
(賛成者挙手)

委員長 ; 全会一致であります。よって、「議第26号」は原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第31号 令和元年度恵那市一般会計補正予算(第7号)(歳入歳出所管部分)」を議題といたします。
本件に対する質疑を行います。ご質疑はありませんか。4番委員。

4番委員 ; 補正予算、予算資料の8ページ国庫支出金、災害復旧費、マイナスになる理由は何でなのか。十分余っちゃったということだと思うんですけども、これで十分だ、なのかということですけども、お伺いします。その辺含めて、はい。

委員長 ; 建設課長。

建設課長 ; 災害復旧費の国庫支出金ですが、今回、令和元年度の災害査定が13カ所ございました。災害査定っていうのはですね、市がまず申請をさせていただいて、国から査定官がみえて、それが妥当なのかどうかっていう審査があります。これを災害査定と

申しておりますが、そこでお認めいただくとやっとな事業ができるということでございまして、今回、申請に対して10%ほどカットされましたので、その部分の国庫補助が減っているということでございます。以上でございます。

委員長 ; 他にありませんか。4番委員。

4番委員 ; 補助金で、耐震化事業費287万8,000円。これ減っておりますけれども、耐震化、これは目標どおりいっとらんということなのか、何が課題なのか、ちょっとお伺いします。

委員長 ; 都市住宅課長。

都市住宅課長 ; 耐震化事業につきましては、14年から進めておりますけれども、31年度も無料耐震診断を50件、耐震補強工事7件、建築物耐震診断を3棟予定をしておりました。それに対し、無料耐震診断は20件、耐震補強は4件、建築物の耐震診断はゼロという結果でございました。市内には、25年の住宅統計調査でございますと約7,800棟の56年以前の住宅があるわけですが、市としても市民の安心安全という観点からこの事業を進めておりますが、なかなか耐震診断をした後に、耐震補強につながっていくわけですが、やはり経費的な問題になるとなかなかこの事業の実施がされないという状況でございます。

市としましても、31年には市内業者を対象に、補助制度の説明、また中野方、飯地、笠置などローラー作戦として、約160件回らせていただいておりますし、本年から環境フェアでブースを出させていただいてPRをさせていただいております。なるべく皆さんがこの事業を使っていただくように、さらにPRをしていきたいと考えております。以上です。

委員長 ; はい、4番委員。

4番委員 ; 耐震化となると、特に田舎とかね、予算という木造の家が残るとかやけども。特に言っちゃなんやけども、岩村なんか防火とか、夜回りとかやっとなけども、例えばそこらをモデル地区とかね、恰好で特別支援を市のほうからそれなりにまた余分にその地域だけについてね、岩村を支援するというような格好を考えて、大事だし、もしなったら大変なもんだから、恰好で進めていくようなことも考えられたらどうかと思いますが、提案しておきます。

委員長 ; 要望ですね。他にありませんか。2番委員。

2番委員 ; はい。13ページの歳出の衛生費のところの浄化槽設置促進事業費なんですけど、これは補正額マイナス1,900万円ということなんですけど、確か31年度の予算の中で、これも75基を予定されておったということなんですけど、マイナス1,900万円とい

うことは、最終的に何基設置されたのかお聞きしたい。お願いします。

委員長 ; 上下水道課長。

上下水道課長 ; はい。浄化槽設置ですけれども、予算は委員おっしゃるとおり 75 基の予算を計上しております。その計上方法としては、過去の実績等を見て 75 基という予算を計上させていただいておりました。今年度の実績ですが、最終的に 50 基の設置で終わっております。以上です。

委員長 ; 他にありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; 国庫支出金。

委員長 ; ページ数を。

4 番委員 ; はい、すいません。8 ページ。国庫補助金の道路橋りょう費補助金、これが 5,400 万円と多額の補正が出てきたわけですが、防災安全交付金の増、これ説明あったかな。どこでどういうものなのか、恵那市の強靱化計画、これに関連したものなのか、そこのところをちょっと教えてください。

委員長 ; 建設課長。

建設課長 ; まず 5,465 万円の内訳ですが、防災安全交付金、これは国の国土強靱化の関係で今回補正になりましたので、それに乗ったということでございますが、その内訳といたしまして、橋りょう修繕が事業費で 2,400 万円、それから通学路のグリーンベルトがありますが、その整備をしていきたいということで、それが 4,100 円ということで補助ベースでいきますと、橋りょう修繕が 1,265 万円、それから通学路が 2,200 万円ということで、合計いたしまして 3,465 万円ということでございます。もう 1 点ですが、道整備交付金、これは補助ベースで 2,000 万円ということで考えております。これは飯地中野方の笠周計画で、県道恵那八百津線がどうしても雨量規制がかかってしまうということで、補完道路ということで、非常に市道の整備が急務になっておりますので、少しでも早い完成をということで考えて今回補正をさせていただいて、委員言われたとおり、恵那市の強靱化計画ということでございますが、今まさに策定中でございますので、こういった個別計画についても、個々に記載をしていきたいということを考えております。以上でございます。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 計画化してお金のかかる、全て国がくれればいいけどくれないし、危険な所は市が自分の金使ってもやらないかんということなもんですが、長期財政計画にも関係することなもんですから、ひとつ、計画を作ってもらって、それをみんなで見ていくということが必要かと思います。

次に9ページ、県委託金ですけど、リニアのマイナス944万1,000円は、幾ら見込んでおって幾ら使って幾ら残ったのか。お伺いします。

委員長 ; リニアまちづくり課長。

リニアまちづくり課長 ; この事業は、岐阜県がJR東海と、リニア軌道の用地等の取得事務の委託の協定をされております。しかしですね、その用地の取得の対象者がかなり多いということで、やはり地元に通じている市の職員の協力を求められておりますので、そこに一緒に用地交渉、用地取得等の契約に伺う。その費用を県と契約していただいております。当初ですね、今年、延べ446件の交渉、用地の説明や用地立会い、用地協議の計画をしておりましたが、実際まだJR東海のほうのリニア軌道の中心線測量や用地幅の測量等が遅れておまして、なかなか交渉に行けないところも出てまいりました。実績が、1月時点の見込みですが、167人になる予定でございます。ということで当初よりも279人ほど減ってくるということで、900万円ほどの委託費が少なくなってくるというものでございます。なおこの費用につきましては、職員の給与費に充てております。以上でございます。

委員長 ; 他にありませんか。4番委員。

4番委員 ; 10ページ土木費5,880万円、飯地中野方線維持管理、さっきちょっと話があった、これは裏負担なのか、市債ですね。これについて中身を教えてください。

委員長 ; 建設課長。

建設課長 ; はい。市債の5,880万円の内訳でございますが、先ほどの飯地中野方線の補助裏ということで、これは補正予算債という起債を充てておまして、その額は2,850万円、それから先ほどの橋りょう修繕の補助裏で、補正予算事業債ということで1,130万円、それから通学路の安全対策、先ほどグリーンベルトと言いましたが、その補助裏の1,900万円ということでの合計が5,880万円ということになっております。以上でございます。

委員長 ; 他にありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; ご質疑なしと認め。

(マイクオフ：他に発言する者あり)

委員長 ; 補正でいいです。はい、4番委員。

4番委員 ; 12ページ、総務費でリニアですけど、1,406万1,000円。事業費の精算ということですが、どのような事業を実施したのか、予定どおり進んでいるのか、まあどうも進んどらんようなふうですが、進捗状況など、あわせてご説明ください。

委員長 ; リニアまちづくり課長。

リニアまちづくり課長 ; はい。この 1,406 万 1,000 円の減額の理由でございます。当初、大井町の野尻野畑地区、大井長島地区の、リニアの軌道により分断される市道の付け替え等の測量設計を予定しておりましたが、JR 東海との協議の中で、地区の道路網の利便性を考慮した付け替え等の計画で、双方が合意に至らず、今後協議が必要となりまして、当初予定の設計ができずに減額補正するものでございます。以上でございます。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 予定どおり進んどらん、相変わらずどこでも。全国でこういう問題が起きているようですが、住民の立場で対応してもらっているということでよろしくをお願いします。13 ページ、衛生費。合併浄化槽、マイナス 1,904 万 2,000 円。3 分の 1 も計画の差があると。これは何でこういうふうになったのか、お願いします。

委員長 ; これは先ほど答弁されたと思いますので、すいません。

(マイクオフ：他に発言する者あり)

4 番委員 ; そうのことね。課題は、今後どうするつもりですか。

委員長 ; 上下水道課長。

上下水道課長 ; 課題というか今年度ですね、50 基に減った要因がなかなか分かりませんが、過去の実績でいきますと、大体 70 基前後の設置がされております。今年度急激に 50 基に減った要因としては、なかなか判断するものはないんですけど、家族構成の変化等によって見送る方が多かったのかなということは予測はしますけれども、急激に今年度減ってますので、令和 2 年度の様子を見ながら、今後の対策等を立てていきたいと考えております。以上です。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 東濃 5 市または下呂とか郡上とか、同じような環境のところではどんなふうなのか。情報はつかめませんか。

委員長 ; 上下水道課長。

上下水道課長 ; すいません。下呂とか状況は分かりませんので、調べさせてもらいます。分かりません。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 特に今恵那市が抱えている、改めて言うまでもないんですけども、若者の流出ね、高齢化というような状況の中で、今話になった家族構成うんぬんっていう話などもビクッとするわけね。どんなふうになっているのかと、状況が。だったらどういう手を打たなきゃならんか、これは私らの仕事だと思います。実際にこの恵那を残し

ていくためにも、そのためには皆さん関心を持って対応していただきたいと思えます。何で3分の1に減ったのか、これがおかしいというふうに、自分たちも思ったもんだから、何でこうなってるかっていうことを担当セクションとしては、市長が全部それはできんで、みんな任された人たちはちゃんとやってもらいたい、お願いします。

次に、同じく担い手の件ですけど、担い手の問題、農林水産業費。2,257万2,000円マイナスですが、これは担い手育成を一生懸命やってもらって予算組んだと思いますが、これだけ減ったっていうのは、それなりの理由、それなりの問題というふうに思っておりますが、何でこういうふうになるのか、とりあえず今、これについての理由など教えていただければと思いますが。

委員長 ; 農政課長。

農政課長 ; 減額補正となった理由の主なものといたしましては、農事組合法人がコンバイン、トラクター等の大型機械の導入を予定しておりましたが、これがなくなったというようなところでございます。その理由としましては、当面利用できる大型機械が補助金を使って購入しなくても、手に入ったというところで、農業者側の経営上の問題でございました。よって、担い手育成が進んでいる、いないというものではございませんので、よろしく願いいたします。以上です。

委員長 ; 他にありませんか。4番委員。

4番委員 ; 豚コレラの関係ですが、畜産のマイナス365万円。これに関連して、豚コレラにかかる国の支援、これは補正でのせれるような支援は無かったということですかね。

委員長 ; 農政課長。

農政課長 ; はい。CSF、豚コレラに関する国の支援といたしまして、主なものでは防疫措置の強化に伴います農場で行う施設整備への補助金でありますとか、経営再開に向けた融資に対する利子の補給でありますとか、新たに豚を導入する場合に、その経営再開するときの経営支援互助金というようなところで国の支援がございます。今回につきましては、融資などは受けてみえますが、そちらについては市の予算は関係がございません。あと、施設の整備につきましても、今回、国のほうのメニューは採択されておりましたので、市のほうの予算含めまして、実施をしております。県の事業で実施をさせていただきました。以上でございます。

委員長 ; 他にありませんか。4番委員。

4番委員 ; 森林保全促進事業費について、これがマイナスになっているわけですけど、この理由。委託料が減ったということですけども、どのような状況、はい。

委員長 ; 農林部次長。

農林部次長

兼林政課長 ; はい。これにつきましては、恵那市有林間伐整備の精算によるものでございます。

当初計画した整備につきましては、全て完了しております。以上です。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; はい。分かりました。次 14 ページ、商工費、企業誘致推進事業費。マイナス 5,300 万円。この理由を教えてください。

委員長 ; 商工観光部調整監。

商工観光部調整監

兼商工課長 ; はい。企業立地奨励金の減ということで、5,357 万 9,000 円上げさせていただきました。この主な理由としましては、リコーエレメックス内にリコーエレメックスエーティーという会社が操業するというので、新たな工場ということでしたが、操業自体が令和 2 年度に延びたということで、今年度は減させていただいて、来年度予算計上させていただくということで、よろしく願いいたします。以上です。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 次、土木費ですけど、これ 6,500 万円補正してありますが、多分、交通安全、交差点のね、通学路の交差点の安全対策だと思うんですが、きょうまだやってみえましたが。これ箇所数、何箇所ぐらいなのか。

委員長 ; 建設課長。

建設課長 ; はい。今回のこの 6,500 万円につきましては、先ほどと重複しますが、橋りょう修繕のところ、2,400 万円、それから通学路で 4,100 万円ということで、橋りょう修繕を、平成 26 年から道路法の関係で 5 年にいっぺんは点検をなささいというのがありまして、それをやってまいりましたら、701 橋ございますが、14 橋に対して修繕が必要という判断がされました。31 年、令和元年からですね、順番に修繕をかけていくということで、14 橋に対してやっていると、今回、国土強靱化の補正に伴って、早めにやりたいということで、今回 2 橋やるということをやっております。もう一つの通学路のほうですが、小中学校半径 500 メートル圏内は、いわゆるその歩道がないところについてはグリーンベルト、緑の線を引きましょうということで考えております。データといたしましては、全線で約 38.9 キロメートルございまして、整備されているのが 34.2%、約 13.3 キロメートル、残りの 25.6 キロメートルを、これから計画的にやっていきたいと思っております、その先駆けでございます。以上でございます。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 交差点にガードパイプやっとするけど、あれは別ですかね。

委員長 ; 建設課長。

建設課長 ; あれは、実は 10 カ所ほどございまして、それも既に対応済みでございますので、市道としては終わっているということでございます。以上です。

委員長 ; 他にありませんか。
(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。
本件に対する討論はありませんか。
(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。
「議第 3 1 号 令和元年度恵那市一般会計補正予算(第 7 号)(歳入歳出所管部分)」
は原案のとおり可決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。
(賛成者挙手)

委員長 ; 全会一致であります。よって、「議第 3 1 号」は原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第 3 5 号 令和元年度恵那市水道事業会計補正予算(第 3 号)」を議題といたします。
本件に対する質疑を行います。ご質疑はありませんか。
(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。
本件に対する討論はありませんか。
(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。
「議第 3 5 号 令和元年度恵那市水道事業会計補正予算(第 3 号)」は原案のとおり可決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。
(賛成者挙手)

委員長 ; 全会一致であります。よって、「議第 3 5 号」は原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員長 ; ここで 10 分間の休憩とします。

(午前 9 時 54 分休憩)

(午前 10 時 04 分再開)

委員長 ; 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

次に、「議第 38 号 令和 2 年度恵那市一般会計予算（歳入歳出所管部分）」を議題といたします。

なお、当初予算の内容は大変広範囲でありますので、「質疑区切り表」に合わせて質疑をしていただきますよう、ご協力をお願いいたします。

まずは、歳入から行います。予算資料 15 ページから 19 ページまでの歳入（所管部分）について、ご質疑はありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; 16 ページ、使用料、住宅使用料ですけど、市営住宅は今、所有戸数は何戸で、活用されてるのは何戸か、あと修理が必要だと思われる数は幾つでしょうか。

あわせて住宅周辺の環境保全、これについてもちょっと課題などお聞かせください。

委員長 ; 都市住宅課長。

都市住宅課長 ; はい。今、市営住宅の管理戸数ですけど、総戸数で 617 戸でございます。古い住宅等は年々解体を進めておりますので、現在 617 となっております。その中で管理戸数としては 549 戸を持っておりまして、入戸戸数は 461 戸というのが現状です。

あと、修理の戸数でございますが、ご存じのように老朽化した住宅が結構ございます。平成 31 年でも約 150 件の修繕を行っておりますので、令和 2 年度も 200 件ほどの修繕予算を計上させていただいております。周辺環境保全維持ということですが、基本的に住宅周辺の環境整備は、入居者の方に行っていただいておりますが、空き家や入居者ではなかなか対応できない状況もございますので、次年度からは、草刈りや障害木の伐採等も含めた環境整備を行っていくことにしておりますので、少し予算のほうが、31 年度より少し膨らんだ形になっておりますので、よろしくお願ひします。以上です。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 私どもの市民アンケートの中で出て来た話ですけど、丸池の住宅なんかはですね、本当にどえらい古いついていうか、見るからに、本当にどうぞここに住んでください。と自信をもって、ちょっと言いづらいような環境ですけども、住んでる人に見れば、住めば都と言わっせるもんだから、なかなか難しいと思いますけども、あそこは今後どういうふうにするつもりですかね、丸池は。

委員長 ; 都市住宅課長。

都市住宅課長 ; 丸池住宅の状況でございますけども、54 戸に対して 25 戸入居しています。それで入居している方の高齢化がかなり進んでいます。市としまして、この丸池住宅は、今後新たな募集はしないような形で、今の状況を保ち、入居者が少なくなった段階で解体を進めていこうと考えています。以上です。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 丸池っていうと、今恵那市はですね、住宅地をつくろうと思って一生懸命あちこちやって、そこにもねできたし、やってるけども、あそこ行って、せっかくこない橋ができたのに、これは使わなあかんじゃないかと。ロケーションも特にいいし、今なんかアルプスも見えるし、恵那山も見えるし笠置山も見えるし、夏になれば恵那峡の花火も見えるしね、1 番適地やと。住宅地としてですね、一つのメリットっていうか、いっぺん研究してもらったらどうかと。特に、あの橋を生かすっていうことね。県の造った橋かもしれんけど、県も私らの税金でつくったやつだもんだから。県議会の視察に来て、何でこんなとこに橋がいるな、というふうに言われたけども、決まっとったもんで進めてもらったけど、その後、リニアができるということで、インターがあっち行っちゃったもんだから、なかなか抜けるのが後回しになってしまったということやけど、せっかくできたもんだから、使うようにと。特に、子供たちが、結構住宅もできてね、朝早くから 6 時半過ぎから歩いて行きようわけよ。だからそこについては、よそに比べるんだったら、スクールバスも出たりしておることもあるもんだから、そういうふうな含めて、全体的にあそこ生かすということが、いいことでないかというふうに特に思いましたので、この場で皆さんおみえになりますのでお話をしていきますが、それに関連していくと、何か丸池住宅ももうちょっとよくするについてもね、やりやすくなる、財政の面からみてもそんな感じもするわけですが。

あと次に恵那市内で 1 番大きい市営住宅団地ですけど、大洞市営、ここの入居者の環境についてですけども、やっぱり入っているところはいいけど、入っていないと、目を覆いたくなるような格好やけども、そこについては定期的な巡回っていうか、管理なんかはどんなふうやってますか。教えてください。

委員長 ; 都市住宅課長。

都市住宅課長 ; 大洞市営住宅でございます。昭和 47 年から 52 年という建築年数になっておりまして、現在 135 戸に対して 105 戸の方が入居しています。建築年数も経過しておりますことから、日々修繕要望等のお電話等がかかってまいりますので、そういったこ

とに対しては、担当者が即対応させるように指示しておりますし、実際、対応をしております。なかなか建物も古いので、修繕要望もかなり出てまいりますけれども、住んでみえる方に支障がないように、対応させていただいております。以上です。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 大洞住宅では、孤独死か、独居の方が亡くなったっていう話も聞いたりするけども、そんな面でいうと、こちらの住宅を管理する都市住宅課だけじゃなしに、オール恵那市、福祉のほうも含めた巡回というか、出張相談所か、そんなようなことなんかも考えて行くべきやないかというふうに思って、どっかで、去年かな、提出したのですが、そのようなお考えどうでしょうか。

委員長 ; 都市住宅課長。

都市住宅課長 ; はい。都市住宅課としましても、そういったことは気にしております。ただそれぞれ社会福祉課や高齢福祉課等の担当課もございますので、それぞれの課と連携しながら対応させていただきたいと思っております。以上です。

委員長 ; はい。4 番委員。

4 番委員 ; 去年、野洲市あたりもね、やっぱり住宅の関係も税のほうも一緒になって、貧困と言っちゃいかんかもしれんけども、そういうのを早く把握するというようなことで、連携を取ってやっているんで、何とかそれを、今年度どうも、重点施策の中には入ってなかったけど、何とかそれも重点施策として取り入れて、ひとつ、動きをつくって行ってほしいと。副市長はよく、恵那市役所は縦割りやでなも。と言っとらせるけど、そうやなしに連携を取ってやっていくことで、それによって無駄も省けるし、市民の心にずっと深く入ることができると思いますので、お願いします。現状、どんなような状況なのか、それなりに分析はしてないですかね。入居者の状況については。

委員長 ; 歳入についての質疑ですので。はい。

4 番委員 ; 歳入やで。まあ一緒のこと。合わせて後で言ってください。お願いします。はい、次、17 ページ。県補助金、農地費補助金が大幅に減りました、その理由を。

委員長 ; 農政課長。

農政課長 ; はい。農地費補助金が 4,132 万 5,000 円の減額、前年対比でなっております。主な原因といたしましては、防災重点ため池のハザードマップを、令和 2 年度は実施をしております、この事業量が減少するというのが大きな要因です。本年度 135 カ所に対して作成をさせていただきますが、新年度になりますと 33 カ所の作成を行うということで、事業量の減が主な原因です。今年度と令和 2 年度におきまして、

事業は終了を予定しております。以上でございます。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; ハザードマップが市民に明らかにできるのは、今年度になるわけですか。

委員長 ; 農政課長。

農政課長 ; 本年度と来年度も 33 カ所ほど残りますので、それでもって完了となります。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 来年の 3 月末ぐらいかな。分からん。

(マイクオフ : はいそのとおりです。と発言する者あり)

4 番委員 ; はい、分かりました。

委員長 ; 他にありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; 同じく林業補助費、これも 3 分の 1 強減っているわけですけども、これの内容はどうかういことでしょうか。

委員長 ; 農林部次長。

農 林 部 次 長

兼 林 政 課 長 ; はい。大幅に減額しているわけなんですけども、これにつきましては、岐阜県の森林環境税を活用しました事業が減となったのが理由でございます。主なものについては、今年度施工しました、明智町の白鷹城址の整備事業とか、あと、集落環境保全とこれ流路工ですけども、それが 2 カ所完成したということで事業のほうが減っております。以上です。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 課題はいっぱいあるはずだと思いますが、ひとつ、よろしくお願ひします。

それから急傾斜地、これが減っているわけだけど、何でこれ減ったのか、要望はあちこちあると思うんですけども。

委員長 ; 建設課長。

建設課長 ; はい。令和 2 年度の予算におきましては、継続しております、武並町の中切で行っている急傾斜地の対策事業を、最終年度ということでやっております。これは来年度、一応、全て終了ということでございますので、その計画で進めているということでございます。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 新規に取りかかるというようなところは、令和 2 年度はないということになるわけですね。

委員長 ; 建設課長。

建設課長 ; まず、急傾斜の対策が必要だということで、本当に急務にやらないといけないと

いう所は、中切を含めて7カ所ございます。7カ所中ですね、中切が県単でやっていただいております、今度、山岡町の八重洞という所は、国の補助金をいただいて対策をしていただいております。それから明智の吉良見の4という所が今年から入ってまして、7カ所中3カ所について対策をやっているということでございますので、あと4カ所についても計画的にやっていきたいと思っております。以上です。

委員長 ; 4番委員。

4番委員 ; 分かりました。ここまでやね。まだそれじゃあるっていうことやね。はい。

委員長 ; 他にありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; はい。次に歳出に入ります。予算資料の20ページから29ページまでの2款 総務費(所管部分)について、ご質疑はありますか。はい。1番委員。

1番委員 ; 地籍調査事業費についてお聞きします。

委員長 ; 何ページですか。

1番委員 ; 24ページ地籍調査事業費。この事業費が本年度予算は減っているんですけど、ただ補正予算で2,234万5,000円がありますので、減った理由とその関連を聞きたいのと、もう一つは、今年度末で一体恵那市の進捗率は今どれぐらいになっているのか、もし分かれば、2年度末の進捗率が分かれば教えてください。

委員長 ; 建設課長。

建設課長 ; はい。今委員おっしゃられたとおり、昨年度と比べまして事業費っていうところではいきますと、やはり国土強靱化の関係で前倒してきたというところが少なくなった前提でございます。来年度、新規で行いたいというところは、串原の閑羅瀬とか長島町の久須見の3、それから笠置町の猪狩という、この3地区を予定しております。平成30年度でいきますと、取り組み状況といたしましては45.7%程度になっております。しかしながら、令和2年度の状況はどうかということでございますが、これは実は法務局が非常に混んでおまして、今、認証の関係が遅れておるとい状況もございますので、まだ推定でしかありませんが、多少なりとも上がるというふうには見込んでおります。以上でございます。

委員長 ; はい。他にありませんか。4番委員。

4番委員 ; 24ページ、防犯まちづくり事業費、これが、防犯カメラ、今何機ついているのか。

委員長 ; これ所管ですか。

4番委員 ; 書いてあるよ、ここに。歳出。20の1のハイフン11、交通安全対策施設整備事業

(犯罪事故)、書いてあるに。ほんで、やらなあかんって思っ

委員長 ; 今、防犯まちづくり事業費って言われなかった。これ、総務文教ですよ。はい、今防犯まちづくりと言われたんでね、はい。

(マイクオフ：他に発言する者あり)

4番委員 ; 犯罪事故が二つあるか。そいつは次のやつやね、今の話は。ならば25ページ。

委員長 ; 25ページ。

4番委員 ; 基幹交通対策事業費、これバスの件だと思いますが、今回新年度からは、まちづくり企画部のほうへ移るとい

うわけですけど、経済建設は今回までということになるわけですが、この基幹交通について、新組織は4月からスタートするということ

いいわけですね。

委員長 ; 副市長。

副市長 ; はい。新組織はまちづくり企画部で行いますのでよろしくお願いします。

委員長 ; 4番委員。

4番委員 ; その新組織が管理するのは、ここの公共交通の他にも、病院のとか、それから高齢者か、外出支援とかね。そういうことなんかもやっていく、福祉のほうも。そういうことで対応する。所管事務はどの範囲や

っていうところは。聞いてったか、この前委員会で。

委員長 ; 副市長。

副市長 ; 地域振興でやっている交通体系はそのままに残してますけれど、ただまちづくり企画部の中に入りますので、連携取ってやりたいと思っ

てます。ただ、高齢者の関係の話は、そこで一緒にやるということにはなりません。4番委員が言ってみる、高齢者っていうのは何なのかちょっとよく分かりませんが、現在のここの14目で行う基幹交通対策事業についてはまちづくり企画部、その下の地域交通の地域交通網対策事業費、これは地域振興で行います。ただし、連携はとれますので、一緒にやっていきたいと思っ

委員長 ; 4番委員。

4番委員 ; 私も議員になる前からこの交通については、行政のほうといろいろアプローチもしてきたんですけども、やっ

とここでひとつ一緒に考えてもらえるかなというふうに思っておりますので、ばらばらじゃなしに全体的に、恵那市に住んで良かったというふうな

こととして進めていただきたいんですが、その中で、これまで交通の中で聞いてきたのは、他県、三郷町へ名古屋のほうから来た人が、何で武並駅まであんなに近いのにバスが出んねと。わざわざ恵那に来なかんというふうな

これについてはそれなりに話はあったと思いますが、このようなことなんかを検討は、今もしてないのか、全然情報が入ってこなかったのか、どんなもんでしょうか。

委員長 ; 商工観光部次長。

商工観光部次長

兼観光交流課長 ; 地域の意見交換会というのを、前回計画を立てる時にそれぞれの地域で行いました。

そちらの議事録あるいは地域懇談会の議事録を確認させていただきましたけれども、三郷と武並の間のそういったバスの路線については、現在要望はございませんということで、お答えしたいと思います。お願いします。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 要望ありますので、またお願いします。今度のところでね、予算もそれなりに、そういうことを考える予算も入っと思えます。お願いします。

次、26 ページ、リニアまちづくり事業費、これ書いてあるのは野尻野畑、大井長島、こう書いてありますけども、長島トンネルが発注されたということで、急がないかんといいことだと思えますけれども、武並町藤のほうについてはこういう問題はなわけですか。

委員長 ; リニアまちづくり課長。

リニアまちづくり課長 ; はい。今回の予算につきまして、野尻野畑、大井長島地区のですね、リニア軌道の上越しの市道の機能回復等のもとより、リニアまちづくり基盤整備計画にも掲げました、機能回復道路等の概略設計等を行っていききたいというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; その中で、左岸のヤード、かなりの事業が関連すると思えますけども、市とか県も含めてやけど、これについては、どのような予算上では取り扱いをしておりますか。

委員長 ; リニアまちづくり課長。

リニアまちづくり課長 ; はい。もちろん阿木川左岸のヤードからの斜坑部分の下越しの部分や武並町藤とかの、市道の交差部分での概略設計は行っていききたいというふうに思っております。以上でございます。

委員長 ; 他にありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; 33 ページ。

委員長 ; 29 ページまでお願いします。

4 番委員 ; はい。

委員長 ; 他にありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 次に、予算資料 33 ページから 37 ページまでの 4 款 衛生費（所管部分）についてご質疑ありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; 33 ページの環境衛生、ごみ減量、これについて、今年度どこまでどんなことを目標にしておられるのか。予算の中でどこまで反映されてるかお伺いします。

委員長 ; 環境課長。

環境課長 ; はい。よろしく願いいたします。ごみ減量でございます。本年度上矢作町と山岡町に資源回収拠点を置きまして、リサイクルを進めている中で、雑紙もたくさん出てきている状況でございます。令和 2 年度以降でございますが、この回収拠点を、広く恵那市内に設置していきたいと思っております。

予算の中では工事費で、恵那のスタンダードモデルとなる、清潔で統一感のあるものを、輸送コンテナを改良して、開放感のある、光が取り込める明るいものを設置していきたいということで、4 基ほど盛っております。

また P T A や自治会で行っていただいております集団資源回収、この中で雑紙というカテゴリーを設けさせていただきます。これにより雑紙の回収、いわゆる家庭内から燃やすごみを減らしていきたい、そして資源へ回していきたいということ、あとは、減量化のポイントでもあります、生ごみ、こちらにおきましては、主婦の皆さんを中心にごみ減量化研究会というのを作っております。こちらで市民が具体的に、生ごみの水切り方法や乾燥方法などをやっていけるようなことを考えていただきたい、一緒に考えていきたいと思っております。このようにごみ減量化施策を通じて、地球の温暖化防止に努めていきたいというふうに感じております。以上でございます。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; それなりについて言っちゃ失礼けれども、頑張ってもらってあんなすばらしい施設もあるわけで、これをまた進めていってもらいたいわけですが、世界には女の子にグレタさんか、よく大人が叱られとるもんで、しっかり恵那市のほうも頑張ってもらえないかと思うわけですが。これはまた一般質問でやらさせていただきます。次に 37 ページ、いいかな、37 まで。労働費ですけど。

委員長 ; そこは違います。水道事業費までですいません。他に。2 番委員。

2 番委員 ; はい。35 ページの、この浄化槽の設置ということで、先ほど補正の時に 75 基が予定をされてたんですけど、最終的に 50 基になったということでありましたが、今回もまた 75 基という予定というか、どのような理由で 75 基にしたかということを開きたいです。

委員長 ; 上下水道課長。

上下水道課長 ; はい。先ほどの令和元年度の 50 基というのが異常で、急激に下がっておりますので、それ以前の実績でいきますと、70 基前後が設置されておるということで、予算で 50 基にしてしまいますと、それ以上に来たときに対応できなくなりますので、75 基の予算を計上させていただいております。以上です。

委員長 ; 2 番委員。

2 番委員 ; それで昨年同様ということにしたということですね、はい。

委員長 ; 他にありませんか。1 番委員。

1 番委員 ; 36 ページのじん芥処理施設維持管理経費、このじん芥処理管理経費の工事請負費なんですけど、毎年 3 億円前後の費用がずっとかかっているんですけど、この費用をですね、たくさんかかっているものですから、何とかこう低減化できんかなと思うんですけど、その辺の見通しどうなのか、上がることもあっても多分これ、下がることはないと思うんですけど、その辺の見通しをちょっと聞きたいんですけど。

委員長 ; 環境課長。

環境課長 ; はい。ここに計上してございます工事請負費、委員おっしゃるとおり施設内の維持管理に係る定期補修ですとか修繕の工事費でございます。毎年このような多額をお願いしているわけではございますが、こちらの工事費、修繕費等々を下げっていく 1 番のかなめというのは、ごみ減量化だと思っております。ごみが減ることによって例えば、破碎するカッターの刃が長もちしていくとか、あとは、工事費ではございませんが、乾燥させるための燃料、これも少なくなっていくと思っておりますので、この経費削減のためには、やはり、ごみ減量化が 1 番の手段であるというふうに思いまして、雑紙の資源化、生ごみの減量化から環境課も一緒になってやっていかなければならないと思っております。以上でございます。

委員長 ; 他にありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; 36 ページのし尿処理事業費、これ大幅に減ってますけども、これはどういう理由でしょうか。

委員長 ; 環境課長。

環境課長 ; はい 36 ページ、し尿処理の事業費と言われますと、恵那し尿処理施設維持管理経費から、恵南衛生センターに係る部分と思いますが、全てにおいて減額をしております。量による減額につきましては収集運搬の部分で、し尿量が少なくなってきたことによる運搬料の減額、あと施設につきましては、例えば、恵那し尿処理施設維

持管理経費、これは藤花苑でございますが、職員給与費ですとか、処理工程の中における薬品、こちらの見直しを行って減額をしております。

また恵南衛生センターにつきましては、包括委託を行っております。年度ごとの機器の修繕、補修等々の計画によって、5年の契約を結んでおります。その計画によって変動しておりますので、その部分が大きく減っているということでございます。あと、豊田明智線の改良に伴う委託料や工事費でも大きく減額になっております。以上でございます。

委員長 ; はい。他にありませんか。2番委員。

2番委員 ; 36ページの、恵那不燃物最終処分場維持管理経費の中の、この恵那市恵南一般廃棄物最終処分場、この山岡町下手向の関係ですが、これ昨年廃止に向けてとされていたんですが、これ今現状どんなようなふうなんですか。

委員長 ; 環境課長。

環境課長 ; はい。恵南最終処分場につきましては、平成31年3月31日をもって埋め立てを終了しています。今後、廃止に向けて他で予算計上させていただきましたが、覆土を50センチ行います。令和2年度で覆土を行います。ここに計上の予算につきましては、この最終処分場の水質及び大気等々の検査また薬品等々の経費でございます。

委員長 ; 他にございませんか。3番委員。

3番委員 ; はい。35ページの1番下お願いします。ごみ減量化対策事業、これエコプラザの委託料とエコプラザの指定管理料だと思います。そこで受けているのは、NPO法人エコ市民会議ってところが受けてますが、視察に行っても特別な技術はいらないわけで、ここは、特定指定でやるべきじゃなくて、やはり公募すべきと思いますが、その辺の考えと、また、その同じ場所で市の施設を使って、自主事業と称して去年あたり180万円ほど利益を出しております。同じ所で市の施設を使って利益を出してもそれは別だっていう考えで、ずっとはじめから監査でやってきたわけですが、まだ解決されていませんが、その辺のお考えを聞きたいです。

環境課長 ; はい。平成30年度の決算時点で、180万円ほどの市民還元積立金がございます。これは、委員おっしゃられたとおり、自主事業から得られた利益を、市民に還元するための基金でございますが、ぼかしや段ボールコンポストの資材、環境グッズの価格の半額負担ですとか、もったいない市の開催ですとかに使っておみえになるところでございますが、その利益をその年の中で市民還元するというような動きがない、というのは事実でございます。これにつきましても、どのように市民に還元していくかという計画書を出しなさいということも言っております。しかしながら、まだ

ここでお示しできるような計画書もない中です。5年間の指定管理が、令和2年度で終了しますので、令和2年度の年度計画の中にこの180万円の計画を、ゼロにする形でもらうように、指導しているところでございます。

あわせて、今後の指定管理についてでございますが、特定指定管理ではなく、令和2年度秋には、広く公募をかけプロポーザルによる選定を行っていきたいと思っております。施設の中は資源回収の拠点とリユースショップの機能を持たせております。大きく3Rの目標は同じでございますが、その性質というのが違った部分も出てきています。その辺も踏まえまして、管理の方法が幾つかあるということも入れながらの募集をかけていきたいと思っております。以上でございます。

委員長 ; 3番委員。

3番委員 ; 180万円利益が出ることはご承知だと思いますが、やはりエコプラザ、同じ場所を使って利益を出すなら、指定管理料に反映すべきだと思います。

二つほど要望しときます。まず一つは、公募にすること。それからもう一つは、さっきの自主事業。自主事業といえども、市の施設、同じ施設を使って利益を出すなら、指定管理料に反映すべき、これは当初からやるべきだったと思います。何回か要望ありましたが、全然変わっておりません。本来なら、予算を停止したいところですが、きょうは委員会の意見として、二つほど、今、要望を通してほしいと思います。お願いします。

委員長 ; 委員会として要望するという意見もあって、言われるように、指定管理を、この公募、それをはっきりするということやね。それと、自主事業の話もされましたので、これは、ただ今言われたように、委員会として要望するということにしてほしいということで。

(マイクオフ：異議あり。と発言する者あり)

委員長 ; それについて、異議はありますか。

(マイクオフ：はい。と発言する者あり)

委員長 ; はい。じゃあ、いいです。異議ありますので、もう、この際採決を。

(マイクオフ：他に発言する者あり)

委員長 ; はい、4番委員。

4番委員 ; 恵那市の売りということで、環境に優しい恵那市ということで、他の町にないことを行政が取り組んだ、市民の声を反映して取り組んだと、そういう施設ですね。そこをたまたまみてもらう方が、指定管理、指名というかね、公募ではなくやったんだけど、それでは他のところでね、じゃ誰がやるかと。これ、今の話を聞くとど

委員長 ; 1 番委員。

1 番委員 ; この指定管理はですね、原則はやっぱり公募だと思うんですわ。それで公募でやるということと、3 番委員が言われたように、当初の目的からすればですね、若干どうかなってということもありますので、いっぺん環境課のほうでよく精査していただいて、やっぱり公募の条件をきちっと出して、公募してやっていくのが1 番いいんじゃないかなと思います。

委員長 ; 他ありませんか。では委員会として、要望することに賛成の諸君の挙手を求めます委員会として。

(賛成者挙手)

はい、挙手多数であります。ということで、環境課また市長に対して、経過報告でいいですね。今度、随時していただくように、これは強く要望しておきます。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 事務局長さん、こういう事務の進め方はありましたでしょうか。後でチェックしていただきます。

(マイクオフ：あります。と発言する者あり)

4 番委員 ; ありますか。

(マイクオフ：意見ですから自由です。と発言する者あり)

4 番委員 ; 会議録に載ることはええけどね。手を挙げて多数決でそういうというような話なんかは、事務として、やるのが標準なのかどうなのか。会議マニュアルに載っておるのか。

(マイクオフ：他に発言する者あり)

委員長 ; 議会事務局長。

議会事務局長 ; 委員会の運営につきましては、最終的に委員さんの中で、賛否を問う事態になりましたら、議論を尽くした上で、採決をとっていただくというのは、通常の運営だと考えております。以上です。

委員長 ; はい、他にありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; それでは、次に予算資料 37 ページの 5 款 労働費についてご質疑ありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; 1,280 万円。これが増額しておりますが、その理由を教えてください。

委員長 ; 商工観光部調整監。

商工観光部調整監

兼商工課長 ; はい。労働費の 1,280 万円の増ですが、これはジバスクラム恵那の設立に向けて、

ビジネスサポートセンターの事業費、それから、移住定住分のビジネスサポートセンター分、それぞれをそれぞれの対象事業のところへ振りましたので、ビジネスサポートセンター雇用分の1,201万円分がここに増されたものです。以上です。

委員長 ; 4番委員。

4番委員 ; 労働費については常に発言させてもらってますけども、恵那市の時間単価が低いということは皆さん思うことで、特に労働関係やってみえる方は、若者流出の原因の一つというふうにも言われてるわけですが、これを改善するための、予算、研究など、いわゆる恵那市に住んで働く分、希望が持てるような、そういう仕事は、この枠の中でやられると思うんですけども、どのようなものを、これについて、そういう取り組みをされてみえるのか。また、他市の事例研究などされているかどうか。教えてください。

委員長 ; 商工観光部調整監。

商工観光部調整監

兼 商工課長 ; はい。時間単価の問題というよりも、若者が勤めていただける、人手不足というところに大きな視点を当てて今、一生懸命やっているところです。やはり高校生が市外へ流出して働きに行ってしまう。それから、もっと言うと、中学生が故郷愛がある時から、地元の企業を知っていただくというようなことも、今年から中学校へ行って企業を紹介するなどしているところでございます。若者たちのアンケートを取ってみますと、地元の企業を知らないということがいちばんあるということですので、そういう中ではそういうことを進めているというところです。

それから時間単価に関してはですね、各企業さんのご努力によるところというところで考えておりますので、よろしくをお願いします。

他市の事例に関しては、そういう中でできることは何、全てってということで今、いろんな形でネット等でも情報を収集しながら、恵那市にあってできるものに関してはという情報収集はしておりますのでよろしくをお願いします。以上です。

委員長 ; 4番委員。

4番委員 ; 今のご説明によると、人手不足ということで、これは労働者の立場というよりも、産業界の立場というふうに思えるわけですが、やはり人手不足の中で、時間単価が改善されないもんだから、流出は止まらない。特に昨年なんか250人しか子どもが生まれんとかね、そういうような本当に危機的な状況が出てきとる。これに対して、やっぱり、手を打つのは行政がやっぱりやらなきゃならんことだと思います。先日、東美濃ふれあいセンターで、高校2年生への面接会というか説明会があって、私も行って来ました。他議員では私だけだった気がするんですが、本当に市内のう

ちのどこもね、頑張ってそこでマイクもって頑張ってやってくれておりましたけども、やはり全部進学の子も就職の子もみんな来いということで来たもんだから、割と大勢でね、よかったと思うわけですけども、やっぱりなぜ賃金上げられないのかと。これまで全国一律の最低賃金、これ岐阜県知事も知事会で挙げておりますが、そういうような声も上げていかないかんじゃないかと思っておりますので、ひとつ、事例研究、先進事例もひとつ検討してやってもらいたいと思っておりますが、はたらくに関する今年度の予算、これ、予算書の中に何が目玉になりますか、ジバスクラムだけですか。

委員長 ; 商工観光部調整監。

商工観光部調整監

兼 商 工 課 長 ; はい。今回はですね、先ほどの高校生ですとか中学生も当然やっていくというところを目玉にはなってくるんですけども、特にということ言いますと、定着支援、3年以上5年以上働いて、定着率が非常に、30%以上の方が辞めていくとかですね、そういう意見も全国的なものもあるもんですから、定着支援をできるようなところで、各事業所です、お勤めいただいて、まだ制度設計中なんですけど、3年から5年ぐらい定着した方々に、定着支援の助成が出せないかということで、検討してやっていくというところが、目玉になろうかと思っております。よろしくお願ひします。

委員長 ; 4番委員。

4番委員 ; 事例研究などしてもらってですね、やはり、中小企業は厳しいのでそこまでできないということであれば、行政でできることは何なのか、例えば土岐市は、退職金、中退共やったかな、企業が負担する退職金のお金を、行政が応援してやるというふうなことなんかも、土岐市はやっております。そういうようなことなんかも、これ確か前、一般質問でやったつもりやけどね。それなんかも取り入れて、他市の例なんか、ひとつ業者を応援していくというふうにしてもらいたいと思っております。

委員長 ; 他にありませんか。

(マイクオフ：ご検討いただけますか。と発言する者あり)

委員長 ; 質問ですか。はい。よろしいですか。商工観光部調整監。

商工観光部調整監

兼 商 工 課 長 ; はい。他市の事例に関しては、研究させていただきますのでよろしくお願ひします。

委員長 ; 他にありませんか。2番委員。

2番委員 ; この労働費の中の、恵那市雇用対策協議会負担金。これの中におそらくジバスクラムの設立に向けての経費が入るということだと思っておりますけど、それだけなのか、

また、今までどおり、雇用対策協議会の負担金というのは、維持されておるのかっ
ていうことをお聞きたいです。

委員長 ; 商工観光部調整監。

商工観光部調整監

兼 商 工 課 長 ; はい。雇用対策協議会は雇用対策協議会でジバスクラムの、ビジネスサポート分の
雇用分をここに、要は労働に関するものをここに上乗せしておりますので、ちょっ
と説明がここになくて申し訳ないんですけども、ビジネスサポート分がここへ来て
いるというのが1,200万円ですので、よろしくをお願いします。

委員長 ; 他にありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 次に、予算資料37ページから40ページまでの第6款 農林水産事業費について、
ご質疑ありませんか。はい。4番委員。

4番委員 ; 38ページ、担い手育成事業費。これ大幅に減ってますけども、これは機械導入の関
係で、今年度ないから減ったということでしょうか。

委員長 ; 農政課長。

農政課長 ; はい。対前年度比の減額の理由、大きなものでいきますと、営農組合へのやはり大
型機械の導入が、新年度ではないということ、そして、いちごハウスの建設、昨年
度多くございまして、その補助金などもありました。今年度は、それが一段落した
というところが主な要因となっております。なお、スマート農業に伴います機械の
導入というものは、予定をさせていただいております。

あと、新年度におきましては、先ほどの一般的な農業機械の導入っていうのは、予
算を設けておりませんが、3年度については、また、要望をお聞きしておりますの
で、その際にはまた内容を詰めて、予算の計上を考えていきたいと思っております。
以上です。

委員長 ; 1番委員。

1番委員 ; 38ページの鳥獣害対策事業費で、今年度の捕獲実績と、今回予算でどの程度の捕獲
予定数をしてるかちょっと聞きたいです。

委員長 ; 農林部次長。

農 林 部 次 長

兼 林 政 課 長 ; はい。元年度もですけど、30年度からの比較がよく分かりますので、30年度
ではですね、イノシシが488頭、シカが58頭。今年度ですとイノシシが267頭、シ
カが74頭と減っております。元年度の減った理由としましては、やはり豚コレラ
の関係で山に入れなかったということも多分あったんじゃないかということと、イノ

シシも大分少なくなってきたということも考えられます。新年度の予算では、もっともっと、捕ってもらいたいというところで、イノシシに対しては600頭、シカについては100頭の予算計上しておりますのでお願いいたします。

委員長 ; 他にありませんか。4番委員。

4番委員 ; 39ページ、地産地消推進事業費ですが、給食センターですけれども、地産地消についてですね、どうしても給食センターで使うについては、量が細かいということで、これについて、前調理をセンターじゃなしに、その前の施設でやったらどうかというようなことで、農業公社のほうでね、そういうことをやってるところもあるけども、少しでも、地産地消を進めるために、地元の野菜を使ってもらえるための工夫などについては、今年度はどんなものを予定しているか、お願いします。

委員長 ; 農政課長。

農政課長 ; はい。給食センターへの地場農産物の納入に関しましては、今後とも当然推進していきたいと考えております。ただし、1農家ごとの出荷ロット数が非常に少ないというのが今ネックになっておりますので、これにつきましては、野菜の直売施設等がですね、中間に入りましてそこで農家さんから集めて、それを給食センターへ求められた量を納入しておるというのが今の取り組みでありますし、今後もそれを推進をしていきたいと考えております。

なお、委員のご提案の前調理というところにつきましては、現在、ちょっと考えておりません。

委員長 ; 4番委員。

4番委員 ; 各センターの要望なんかも聞いて、少しでも使ってもらえるような、そのための支援をしていくと。直売施設がやってくれるんだったら、そこへもう少しね、支援をしてやってもらえるようにしていくということがいいかと思っておりますので、提案とします。

委員長 ; はい。他にありませんか。3番委員。

3番委員 ; 39ページをお願いします。森林保全促進事業費で、森林環境譲与税活用事業の内容を教えてください。

委員長 ; 農林部次長。

農林部次長

兼林政課長 ; 新年度での環境譲与税の使い道ですけれども、これにつきましては、まず、森林管理制度に伴います移行調査から森林整備を実施するというところで、185ヘクタールの移行調査を行います。そこで了解が得られるだろうと想定するのが105ヘクタールぐらい、そういったことで森林整備を主に進めていきたいということで、これで

5,400万円ほどの予算計上しております。

あとですね、これ今年にやって思ったところなんですけども、やはり森林整備をするにあたりまして、そこへ、行くまでの林道ですね、そちらの路面が非常に荒れてくるということでございますので、そういった作業道とか林道の整備のほうにも予算のほうを計上させていただいておりますし、また担い手対策、昨年までは県の環境税が対象となっていましたけども、それは対象にならなくなったということで、機械の安全講習等も今回こちらの環境譲与税のほうで予算計上させていただいております。以上です。

委員長 ; 3番委員。

3番委員 ; この森林環境譲与税は、これからどんどん増えていって、最後には1億3,000万円ぐらいになると思いますが、今、林道の整備、それももちろんですが、仕事があっても、人手不足でできんというのが今の現実です。

で、緑の雇用という、育成する制度がありますが、これは2年間で3年目から切られます。2年じゃ一人前になりませんので、こういう人手不足の解消のためにも、この緑の雇用の継続、例えばあと2年増やすとか、プラスアルファの賃金を出すとか、そうして、山も大事ですが人材の育成にも多分使えると思うんで、この森林譲与税が。この際にそちらへシフトして、林業をもっと永久的にできるようにしてほしいと思います。以上です。

委員長 ; 農林部次長。

農林部次長

兼林政課長 ; はい。今委員おっしゃったこと、本当そのとおりでございます。確かに人材確保しないと山の世話はできないということで、新年度では、予算には計上してはありませんが、やはり先進的な市がございます。農業施策と同じような担い手対策がありますので、そういったものを参考にして、新年度は対策を協議していきたいと考えております。以上です。

委員長 ; 4番委員。

4番委員 ; 私が言おうかと思ったやつを言ってみましたけども、林業は、きょうのために一生懸命勉強してきたんやで。

ビジネスサポートセンターのホームページ、それで見ると、移住についてというコーナーね、林業はあこがれだけではできません。というようなメッセージが出ております。やっぱり危険だということ、それから安全の問題、それから待遇、年収、こういうこともあって、やっぱりしっかりとその補償というかね、やっていかないとかなんかと思いますが、今回このような問題が起きて、やはり空気と水と食糧は絶対大

事だもんだから、それは恵那市の大地で作るんやと。特に空気なんかについては、山の中、上矢作町や串原や飯地町とかね、周辺の人の方によって、恵那があるわけだから、そこをやるのに、国からもらった錢だけやなしに、恵那市も上乘せしてやるというようなことで、先ほどもあった他市の事例なども検討してもらっておるようですけど、何としても、堂々とみんなの命を預かっとなるんだぞと、しっかりやるで言うこと聞いてくれよ、というふうなことをやっていただきたいというふうに思います。この間、白鷹城か、お城を見せてもらいましたが、本当にああようになったようなったってね、みんな言ってみえたもんでね、あれがまた引き続いてやっていけるように、地元の人に管理してもらわなならんけども、その管理していただく人達にもしっかり配慮して、森というものを生かしていくように、頑張ってもらっておりますが、もうひとつ、心構えなどであればお聞きをしたいんですけども、担当としての。

委員長 ; 農林部次長。

農林部次長

兼林政課長 ; はい。なかなか林政っていうのは、表に出て来ないところなんですけども、先ほども申させていただきましたけども、やはり今は人材確保が1番でないかなということで、先ほど申しましたようなことを進めていきたい。

また現在市でも単独です、間伐施業とか、木材の搬出、また作業道の新設、そういったものにも補助制度を設けております。そういったものをこれからも継続できるように、予算化していきたいということ、また現在、未利用材なんかが、全て市外へチップとして出てます。そういった未利用材が今後何か新たな、木製品の開発なんかもやっていけたらいいなということで、今市民の皆様と一緒に検討を行っている最中ですので、そういったことをこれからも進めていきたいと思っております。以上です。

委員長 ; 他にありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 次に、予算資料の40ページから41ページまでの第7款 商工費について、ご質疑はありませんか。4番委員。

4番委員 ; 40ページ、企業誘致。西工業団地、住友理工株式会社さんの問題の結果をお聞きしたいんですけども、今どんな状況になっておるか。30年の5月に協定文書、契約されましたけども、契約書じゃなかったのかどうかということ、それから、昨年7月、中止ではなく、期日繰り延べの申し出があったというこのことについて、先日21日の報道発表ではですね、立地協定に対する市長のコメントとして、この度住友理工

株式会社より、恵那西工業団地の開発事業を断念する旨の通知の提出があったことについて大変遺憾に思います。今後については、状況判断の上、適切に対応してまいりますということですが、その後、私もちょっと裁判なんて話も聞いたもんだから、そうやなしに何とか話し合いですかというふうに思うわけですが、とりあえず、今の状況を教えてください。

委員長 ; 商工観光部調整監。

商工観光部調整監

兼 商工課長 ; はい。委員が言われたように、平成 30 年 5 月 22 日に立地協定を結んで、その後、その協定に基づいて開発申請等を行い、元年 7 月 31 日には、元年の 7 月にはもう譲渡契約をするということで進んでいたんですが、延期を申し入れられ、令和 2 年 2 月 10 日に事業の断念ということで、これは全員協議会で報告させていただいたとおりです。

現在は弁護士と相談をしている状況です。その中での裁判というような話もありましたけど、まずは相手の方と示談交渉をさせていただくというところなんです。それは当然、住友理工株式会社さん用にかかった費用に関してはいただきたいということで示談をさせていただけないかなというふうに、今、弁護士等も費用の面で積み上げながら相談をしているところですので、よろしくをお願いします。

また委員がおっしゃられるように、裁判というよりも円満解決に向けた努力を今後もしていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; なかなかこういうことは、円満解決ということは難しいかもしれませんが、一部市民のほうからはね、この責任は明らかにせよ。というふうな声も私のところに届いてきております。それについては、行政をチェックする議会の任務としても無関心ではおれませんので、情報提供もお願いしたいわけですが、最初に、全員協議会で話があったときには、裁判という話も出たもんだから、ちょっとこれはねびっくりして、それなりに恵那市にいろいろ気をつけてもらっておる有名な方もみえるはずやもんで、その人にも、それなりに相談をしてとかね、その人が役に立たんなんていうことはないはずやで。そんなことなんかも含めてね、検討してると思いますが、いずれにしても、土地については、心配する土が出てくるというようなことで、それを相手の業者が片付けてくれるということで、本当にほっとしておったわけけど、今回こういうことになると、いろいろまた心配もしなきゃならんわけですが、現在までで 6 億 5,500 万円、これだけの投資、昨日も重機がまだ仕事をしているわけやけど、この仕事については引き続きやって、今計画した仕事はそのままやって

くというふうなのか、いったん途中の状況でストップかけることがあるのかどうか、どのような格好で進めていくのか、市民にも見える話やもんでね、業者が来ないということになつとるがどうなつとるね、ということになるので、それもちょっと教えてください。

委員長 ; 商工観光部調整監。

商工観光部調整監

兼 商 工 課 長 ; 工業団地としての工事に関しては、まだ実は入っておりません。関連として、土が入るとかそういうものに関しては動いておりますけども、団地としての工事は入っておりませんので、今後それは計画的にということになってくると思いますので、よろしくをお願いします。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 建設課のほうもみえるんですが、瑞浪恵那道路ができてきてね、その前に作業道路もあるわけけども、全体的に見直しをするというふうな考え方はない。あそこは工業団地として開発していくというふうなポリシーというか、方針に変わりはないのか、副市長さん、すいません。

委員長 ; 副市長。

副市長 ; はい。この件につきましては、議長から少し全員協議会以後の動きも説明してほしいということもありましたし、全員協議会だけではなかなか分からないというところもございましたので、そういったところの資料も付けて、一度勉強会ないしは何かの形で説明をしたいと思います。

そして今後の進め方ですけど、土地開発公社の理事会を開催して、今後の進め方についてご理解していただきたいというふうに思っています。動きとしては、まず示談交渉、そしてそこが決裂すれば、裁判、こういうような形に進むかと思えます。

その辺につきましても議会の皆さんにもご相談していきたいというふうに思っておりますので、よろしくをお願いします。

委員長 ; 他にありませんか。2 番委員。

2 番委員 ; はい。41 ページの商工業振興事業費の、このプレミアム付商品券事業。これはまた昨年と同じような内容の取り組みかということと、ちょっと関連して下の廃止の部分ですね、消費税増税のための、低所得者、子育てのための商品券事業を行われた、1 年こっきりで、これについても含めて、また何か新たなそういう事業の計画があるのかということをお聞きしたいです。

委員長 ; 商工観光部調整監。

商工観光部調整監

兼 商 工 課 長 ; はい。商工業振興事業費のプレミアム付商品券事業に関しましては、昨年もやって今年もやってるんですけども、市の単独事業として、簡単に言いますと1万円にプレミアム分1,000円を付けて売れるような形で、市内の事業者のところ、赤券青券決めて使っていただけるような、市内というところでやっております。

1番下にあります、低所得者に関しましては、これは増税対策ということで消費税の増税対策で国のほうでやった事業ですので、こちらのほうは、もうこれで1回こっきりで終わるといことです。

上のほうに関しましては、昨年から始めて来年で3年目ですので、3年終わった時点で少し検証させていただいて、皆さんがまだやはり市内に流通するような形で、ということであれば継続してやっていきたいというふうには考えておるようなところ、以上です。

委員長 ; 2番委員。

2番委員 ; この商品券ですね、これ最終的にどれぐらい使われたかとかってということが、多分ずっと当初からあると思うんですけど、これ増えてきとるのか、減ってきておるのかってのをちょっと分かれば、すいません。

委員長 ; 商工観光部調整監。

商工観光部調整監

兼 商 工 課 長 ; はい。今年度の使用に関してはまだ出ておりません。ですけれども市の分の売れ行きというところを考えると、昨年よりも1週間早く今年に売れました。売り切れてしまってますので、10月のちょっとね、日にちまで覚えてませんが、昨年よりも今年の方が1週間早く、ちょっとその日にちは定かじゃないですけど10月中下旬までには売れてしまってますので、市民の皆さんの関心は非常に高いもので、利用していただいていると思っております。以上です。

委員長 ; 他にありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 次に、予算資料41ページから44ページまでの8款 土木費について、ご質疑はありませんか。1番委員。

1番委員 ; 42ページの1番上の、国県道事業等負担金負担事業費について聞きたいんですけど、昨年より1,000万円ぐらい増えていて、県の動向っていつもほとんど毎年一緒なものですから、多分ひょっとしたら国道418号線で大規模な工事やられるかなという気もするんですけど、この内容を教えてください。

委員長 ; 建設課長。

建設課長 ; はい。国県の県事業の負担金ということでございますが、前年度対比でいきますと、

1,131万円の増額ということになっております。

道路がですね、内訳といたしまして、プラス1,681万円の増額になっております。砂防のほうが、今度逆に550万円の減額ということでございますが、これはほぼほぼ継続してやっていただいております、道路が5路線7カ所でやっていただいております。それから砂防のほうが2カ所、急傾斜ですね先ほどの4番委員が言われたようなところで、急傾斜の2カ所やっていただいておりますということですけど、何で今年は事業費が多くなっていいますと、単純に昨年度は測量が多かったと。今年度は工事をやっていただける箇所が多いということで、その事業費が増えております。以上です。

委員長 ; 他にありませんか。4番委員。

4番委員 ; 今の事業ですけど、瑞浪恵那道路についてはここには入っておりませんか。それから、豊田明智線、これは貫通する見込みなど教えてください。

委員長 ; 建設課長。

建設課長 ; はい。瑞浪恵那道路は国事業で直轄事業ですので、市としての負担金はございません。ですので、この予算には反映されておられません。

それから豊田明智線は、来年度、明智町の大小屋のほうで工事をやっていただけるということで伺っております。全線2車線というのは、県のほうも計画を持ってきて、今回国土強靱化の関係で、本当に豊田明智の中で法面が危険なところを優先的にやっていただいているということございまして、全線を全て2車線化というのは、まだまだ当分先のことでございますけど、皆さん方南部幹線道路改良促進協議会の中で要望等もしていただきながら、早期な完成を目指しておるということでございます。以上です。

委員長 ; 4番委員。

4番委員 ; 瑞浪恵那道路はそりゃ国だけでも、例えば道の駅とかね、そんなもんなんかも計画になつとるんだから、当然、恵那市が主体になって動かなあかんというふうに思うけども。そんなような話はまだ書いただけで、いつというふうなスケジュールまでは出て来ん。

委員長 ; 建設課長。

建設課長 ; 瑞浪恵那道路のですね、本線については、国交省でやっていただけるということですけど、付帯事業、例えば本当にまちおこしをどうするかとか、道の駅をどうするかというところについては、地元の方々もふまえて意見を聞きながら進めていくということございまして、いきなり来年度予算化ということではございません

ので、今のところはですね、地元の方々と意見を交えながら将来的な構想練っておるという状況でございます。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; そのようなことについては、今、下期の総合計画にすごく関わっているけども、その中に一定の反映はして、スケジュール化、どんな段取りでしていくかと、市民に対してどうやって聞いていくかということなんかも、当然反映されてくると、いうふうに見ておけばいいわけですか。

委員長 ; 建設課長。

建設課長 ; はい。瑞浪恵那道路がですね、完成が 2027 年を目指してみえます。そこがリニアの開業に合わせてということで、今の目標値はその年度になっておりまして、恵那市としても、そこはですね最終的な到達点ではないかなというふうに思っております。以上でございます。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 27 年度にできるとなると、そこまでに武並の所に道の駅ができる、道の駅というかね、大きなプールができるというようなこととか、かなりの事業になって大変ですね。けども、大変心配してるわけよ。また、リニアの野畑のほうまだまとまらんと。岡瀬沢ではまだ判子も、まだ話もできんというような状況。

恵那市としてのスタッフの面がちょっと心配やけど、そこまでできるかと。定数管理でいったら、いや、人数は減っていきよるけどもええかって言ったら、そりゃ関係ないよと、仕事はちゃんとやってくでというふうに、部長さんが啖呵を切ったわけやけど、本当に大丈夫かと。私らは議会やもんで責任があるもんでね。皆さん方は、その役職の中でその任期の中でしっかり仕事をするとやってきたけど、私たちは、ずっと続いて職員に確認してか責任とってかなかんもんだから、だから心配するもんで、人についても、やっぱり必要なところは引き続きしっかり責任を取れる人に、仕事をやってもらうというふうなスタンスで対応してもらいたいと思いますが。特に 41 ページのね、施設管理総務費 3 人と。これはどういう人、よその仕事もやるというところにあるわけやけども、そこをちょっと教えてください。3 人でできるかどうかというのも含めてですけど。

委員長 ; 都市住宅課長。

都市住宅課長 ; こちらで予算計上しておりますのは、建築系の建築技術者の 3 人の予算を計上しております。なかなか市内施設も老朽化しておりまして、かなり修繕改修の工事もあります。その中でも技術者 3 人しか今おりませんので、しっかり事務を配分しながら

ら進めていくようにしておりますので、よろしく願いいたします。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 今言っとったけども、全体的な仕事の量ていうかね、キャパなんかどんなふうに見とられるのか。

委員長 ; 建設課長。

建設課長 ; 先ほどの瑞浪恵那道路の関係でございますと、まず道の駅もですね、決してハードだけやって、それで完成っていうわけではなくて、本当に皆さん方、後のことを考えたときにそのことのほうが重要ではないかなと思っております。例えば、道の駅の造成については、国交省は、土が欲しいというと、国交省が道の駅の平場をつくってもらおうとやっていう、この一つの案もありますので、決して全てが市の負担になるかっていうことではないということになります。ですので、まだまだ決めていなくてはいけないことっていっぱいあるので、まずはそういったハード面ばかりでなくてソフト面を含めて、やっていきたいなと思っております。

それと言われた全体の工事費っていうことでございますが、かなり厳しいことは重々承知でございます。ですので今後は、アウトソーシングだとかも考えながら、委託にかけていくっていうのも、一つは手かなとは思っておりますが、まだこれは決定しているわけではないので、そんなことで提案をさせていただきたいなと思っております。以上です。

委員長 ; はい。2 番委員。

2 番委員 ; 42 ページの急傾斜地崩落対策事業費の、5,400 万円のプラス。これって武並の分が全てということでしょうか。

委員長 ; 建設課長。

建設課長 ; はい。この 5,420 万円の増額についてでございますが、中切の先ほどのご質問にありました、県単の急傾斜が事業費は 1,300 万円ということで、あとの全体でいきますと、4,100 万円については、今度大井第二小学校と串原の福祉センター、この 2カ所が実は指定避難所になっております。指定避難所というのは、市内に 71 カ所ございます。指定避難所ってどういうところかといいますと、生活というか、例えば、家屋が倒壊して、拠点となる生活をそこでしていただくっていう、長時間避難所として使われるところが指定避難所っていうことになるわけですけど、その 2カ所がですね、レッドゾーンがかかっておるということでございますので、レッドゾーンについてぬくという対策を今回やりたいなということでのご提案でございます。以上です。

委員長 ; 他にありませんか。4番委員。

4番委員 ; 42ページ、河川整備事業費ですけど、排水路浚渫の問題ですけど、県のほうはあっちこっち浚渫を補正予算でやってもらってるけども、浚渫が必要だというふうなことなんかのデータ、調査でね、そんなことで上がっている箇所があるのかないのか。それについては、もしあるとすればどれぐらい進んでいるのかについてちょっと教えてください。

委員長 ; 建設課長。

建設課長 ; はい。河川の浚渫でございますが、実は県の河川と市が管理しとる河川っていうのは意味が全く違っておりまして、県の管理しとる河川っていうのは、河川法っていうのがございまして、それに基づいて管理をしていただいておりますということなんですけど、あくまでも市の管理している普通河川っていうのは、法定外公共物管理条例しかございません。その中での管理ということになるんですが、そういった河川法によるものについては、国土強靱化の補助対象になるよということだったんですが、今回通達がございまして、普通河川もある程度浚渫ができるっていう方向性ができてまいりましたので、今、要望の箇所を拾っております。今後そこを洗い出して、現地を確認しながら早急に対応したいなと思っておりますので、今現在ではデータはございません。以上でございます。

委員長 ; 他にありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; それでは、次に予算資料52ページの11款 災害復旧費について、ご質疑はありませんか。4番委員。

4番委員 ; 43ページ。

委員長 ; 52ページからです。

4番委員 ; 何で、まだ、そんな言っとらん。太陽光発電の関係をちょっと聞きたいけど、後で教えてください。

委員長 ; 52ページからです。ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 次に、予算資料の9ページの債務負担行為(現年度議決分)(所管部分)について、ご質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 次に、予算資料に掲載がありませんので、予算書及び説明書の268ページから269ページの債務負担行為に関する調書(過年度議決分)についての、ご質疑ありませ

んか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 次に、予算資料の10ページから11ページまでの地方債の状況(所管部分)について、ご質疑ありませんか。4番委員。

4番委員 ; 歳入からみてですが、今あちこちで太陽光発電がメガソーラー、こういうことがあるわけですが、それについて、地方債を起こして、そして少しでもね、この問題について解決するような取り組みはしないのか。銭がないというのだったら、そういうような取り組み、いわゆる太陽光が、市民の関心の問題で、それを議会で取り扱うのは、この経済建設委員会、その中で何もなしで通る、せっかく市長もね条例つくったやつやと、それについてどう見ておるか、これらについても、議会がパスしてしまったでは、これは市民に申し開きが立ちませんので、ちょっと太陽光についてですね、対策についてこれ予算化してあるかどうか、色んな問題、地域で出てきてるんだよね、何もしてないわけじゃないでしょう、やってるならやってる、ちょっと教えてください。

委員長 ; 都市住宅課長。

都市住宅課長 ; 太陽光条例に基づく施設については予算化はしておりません。

委員長 ; 他にありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 次に、予算資料に掲載がありませんので、予算書及び説明書の6ページから9ページの第1表 歳入歳出予算(所管部分)についての、ご質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 次に、予算書及び説明書の13ページから15ページ、歳入歳出予算事項別明細書(所管部分)について、ご質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; これで、予算書に基づく質疑は全て終了しました。質疑漏れなど、他にご質疑はございませんか。はい。4番委員

4番委員 ; わざわざ委員長が配慮して、質疑漏れはありませんかと言いますので、すいません。太陽光ではなく市営住宅ですが、市営住宅っていうのは前に、家賃は、長期入居者は毎年1,000円ずつ高くなるというふうな話を、住民から言われたけど、時が経つとだんだん劣化して行って安くなるはずだけど、長く住んでいると、毎年1,000円ずつ上がるなんて話がありましたけど本当でしょうか。

委員長 ; 都市住宅課長。

都市住宅課長；住宅は算定基準がございます。基本は収入に基づくものでございまして、あと施設の老朽化、耐用年数等も踏まえまして、所定の算出方法がございますので、一律に1,000円ずつ上がるとか、そういったことはございません。それぞれの人によって、家賃は変動していきます。以上です。

(マイクオフ：他に発言する者あり)

都市住宅課長；若者住宅につきましては、若者専用の住宅でございますので、入居が長引いた場合には、家賃を1,000円ずつ上げていく方針にしております。

委員長；はい、副市長。

副市長；若者住宅の考え方ですけど、もともと若い方は所得が低いので、最初の時の入居金額を下げておいて、年数を経て負担してもらおうというそういう設計思想がありますので、毎年1,000円ずつ上げているということです。

4番委員；当時設定した時代はね。その年功序列で上がっていく、そういうふうな時代かと思うけども、今は派遣がね半分おるような状況、特に若い人なんかはね、そういう中で、果たしてこの制度がいいかどうか。これもちょっと若い人を応援するというふうなことからいけば、見直しをしてみたらどうかというふうに思うわけですが、時代が変わって来ると、若者がみんな出ていくと、そういう中で考えていかなければいけない話ですが、考えていただくわけにいかんでしょうか。

委員長；都市住宅課長。

都市住宅課長；今のこの若者住宅の運営上では、そのような方法は考えてはおりません。また今後住宅の状況等によりまして、検討も必要なときがあれば、検討する余地もあるかと思いますが、現段階では考えておりません。

委員長；4番委員。

4番委員；まるで長く住んでおることが悪いというふうな扱いをしておるようにみえるわけね。先日もここの風呂の栓がちょっと壊れたと、見に行ったら、これは古くなったけども個人の負担ですよ。というふうに言われると。当然劣化していくよね、経年劣化。評価も変わってくるような中だもんだから、そういう点もしっかり配慮して、若い人たちが住みやすい恵那市をどうやって維持していくかという努力と、それぞれの担当部署で考えてもらわなきゃいけない仕事ですが、ひとつ、この場でですね、お願いしておきますのでよろしく願いいたします。

委員長；他にありませんか。他に質疑がありませんので、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第38号 令和2年度恵那市一般会計予算(歳入歳出所管部分)」は原案のとおり可決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

全会一致であります。よって、「議第38号」は原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第44号 令和2年度恵那市水道事業会計予算」を議題といたします。予算資料の70ページから72ページをお願いいたします。

本件に対する質疑を行います。ご質疑はありませんか。4番委員。

4番委員 ; 70ページの歳入。事業収入の給水収益、人口が減っていくのに何で増えたか、教えてください。

委員長 ; 上下水道課長。

上下水道課長 ; この給水収益の見込みは、有収水量の実績から算出しておりますので、人口とは結びついてなく、有収水量の実績によって予算を見込んでおります。以上です。

委員長 ; 4番委員。

4番委員 ; 量の計算式がどういうふうになっているんですか。だだ洩れしているのに、その水がカウントしとるということかな。

委員長 ; 上下水道課長。

上下水道課長 ; 今は有収水量の求め方ということですか。有収水量は、皆さん使っていただいた水の量になりますので、水量はそのまま出てきます。使っていただいた水道の量です。以上です。

委員長 ; 4番委員。

4番委員 ; そうすると、利用者の数は増えてくるわけ。蛇口の栓の数とかね、メーター数とか。数は増えてきょうのかどうなのか。

委員長 ; 上下水道課長。

上下水道課長 ; すいません。口数の増減は分かりませんが、世帯数は増加してってます。

委員長 ; 他にありませんか。3番委員。

3番委員 ; 水道事業は、空気と一緒にいつでもあるという、市民は考え方ですけど、毎年何億かの修理費、それから配管やってますが、何百キロメートル、何千キロメートルとあるなかで、手当たり次第というわけにいきませんが、やはり計画を立ててやるべきだと思いますが、計画は、今まで聞いたことないですが、立ててあるんだろうか。

委員長 ; 上下水道課長。

上下水道課長 ; まず水道のほうですけれども、水道管のほうは72ページの、資本的支出、建設改良工事費というところに、管路更新の工事費を見込んでおりますけれども、今現在は老朽管更新と重要給水施設配水管整備事業という二つの事業で、水道管の更新を行っております。それで、老朽管更新については令和2年度に事業が終了をして、その後は、重要給水施設配水管整備事業として、継続して水道管の更新を行っていく計画を立てております。

それと施設のほうについては、まだそういう計画がございませんので、令和2年度にアセットマネジメント計画を策定して、その後に更新計画を策定をしていく予定をしております。

委員長 ; 3番委員。

3番委員 ; 70ページの減価償却を見ても、7億7,000万円っていう大きな金額が減価償却されてますけど、ここには資産とか資金とか負債とか、いわゆる貸借対照表に載りませんが、そういうものなのかその中身が分からん。

(マイクオフ：他に発言する者あり)

3番委員 ; いやいや、そういうのが載せんもんならいいけど、普通なら資産もあるし、預金もあるし負債もあるし、貸借対照表がどこにも載ってこんけど。

委員長 ; 上下水道課長。

上下水道課長 ; この予算資料のほうに載ってませんけども、予算書のほうに載せてありますので、ご参照いただければと思います。

委員長 ; はい。他にありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第44号 令和2年度恵那市水道事業会計予算」は原案のとおり可決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

委員長 ; 全会一致であります。よって、「議第44号」は原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員長 ;次に、「議第45号 令和2年度恵那市下水道事業会計予算」を議題といたします。
予算資料の73ページから76ページをお願いします。
本件に対する質疑を行います。ご質疑はありませんか。
(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ;ご質疑はありませんので、質疑を終結いたします。
本件に対する討論はありませんか。
(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ;討論はありませんので、ただ今から採決を行います。
「議第45号 令和2年度恵那市下水道事業会計予算」は原案のとおり可決すべき
ものに賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

委員長 ;全会一致であります。よって、「議第45号」は原案のとおり可決すべきものと決し
ました。

委員長 ;以上で予定の議題をすべて終了いたしました。
最後に、本会議における委員会審査結果報告書の作成については、正副委員長に一
任いただくことに、ご異議ありませんか。
(「異議なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ;ありがとうございます。
それではこれもちまして、令和2年第1回経済建設委員会を閉会いたします。お
疲れさまでした。

午前11時46分閉会

恵那市議会委員会条例第30条の規定によりここに署名又は押印する。

恵那市議会 経済建設委員長 中嶋元則